



校長室 だより

尼崎市立常陽中学校 No.6

平成27年6月16日

校長 小谷 豪郎

相生市ペーロン祭り

3年生の皆さん、修学旅行で「兵庫県にもペーロンで有名な町がありますよ」という話を覚えていますか。今年も5月の最終土曜日の30日に前夜祭の花火大会、31日の日曜日にペーロン競争大会が行われました。やはり長崎市と「ペーロン交流都市提携」を結んで交流があるそうです。

地元では、中学生のチーム、町内会単位のチーム、会社単位のチームなど様々なチームが優勝目指して1日相生湾で激しいレースを繰り広げます。みんながこいでいたスピードとは比べ物になりません。実際に船に乗らなくても、学校のプールサイドに一列に並び、リズムに合わせて櫂をこぐ練習をしたり、子どもから大人まで町を挙げて取り組むスポーツになっています。太鼓とドラで「ドン・デン・ジャン」と独特のリズムを刻んで競います。祭りが近づくと週末には沢山の船が練習をするので、このリズムが風に乗って町中まで響いてきます。皆さんも機会があれば一度出かけてみては如何でしょうか。

前日の花火大会は、今シーズンの最初になる大きな花火大会なので、日本中の花火師さんたちが、新作の打ち上げ花火の試し打ちに来られたりするらしく、とても華やかです。

感動の体育大会

梅雨に入り天候が心配だった、第34回体育大会が、予定通り6月13日土曜日に開催されました。全校生徒の思いが通じ雨雲を吹き飛ばし、夏を呼び寄せたような好天に恵まれ絶好の体育大会日和となりました。

1年生は、学年演技としてクラス全員で一致団結して行う競技として、お互い知恵を出し合い声を掛け合いながら、安全確実にそして素早く移動することが必要な背中渡しに挑戦J-soul「常陽魂」と名付け取り組みました。予行で上手くいかなかったクラスは早朝練習等自主的に取り組んで頑張っていました。



2年生は、常陽トライ～走るモンキーとムカデたち～と名付け、男子が3人組の「お猿のかごや」女子が5人組でムカデ競争、という2種類の競技をミックスしてクラス全員がリレー形式でたすきを繋ぐ、そんな競技に取り組みました。

途中で我慢しきれず、かごやの担ぐ棒から落下するお猿や、前のみんながスタートする気で居るのに、全くよそ見をしていて、全員倒れても一人呆然と遠くを眺めている、そんな女子生徒も居ましたが、競技が進につれ白熱してきクラスの横に付き大きな声で号令をかけたり、手拍子で一生懸命足あわせを誘導したり、大変でしたご苦労様でした。先生方に『敢闘賞』

たのは、各担任の先生です、



3年生の学年演技は、運動会の定番「騎馬戦」でしたが、クラス対抗一騎打ちといったシンプル且つ熱戦が繰り広げられる展開でした。どのクラスも団結し、競技をする者と応援をする者が一つになり見ているにも迫力と共に爽やかさを感じ取れる取組でした。



その他にはクラブ行進・対抗リレー、障害物競走のバラエティーリレー、縦割りリレー等々、競技する者の一生懸命さ、観覧席で応援する者の観覧態度、どちらも素晴らしかったです。

大会を締めくくる「組み体操」は、3年生の松井君の「今日、常陽に新しい歴史を刻みます」の力強いアナウンスに始まり、素晴らしい演技をノーミスで完成してくれました。2年生・1年生の皆さんは、3年生のここから常陽中学校は変わって行くんだという意気込みのバトンをしっかりと受け継いで行って下さい。



信頼・協力



感動・感激



自信・満足



唯一無二



《今月の言葉》 「 人生で一番いけないこと 」

それは、あれこれと理由を付けて、何もしないことです。
せっかく人間に生まれてきたんです。
早い遅いは有るけれど寿命が来れば、みんな死んでいくのです。
だったらその時間を無駄にせず、
精いっぱい笑ったり、泣いたりしなければ。
そして、自分に何が出来るか、挑戦しなければ・・・ね！